



楓

ふうえん

園

特集

新しい体制で迎える春

役職者就任・退任挨拶
学院人事

- 5 NEWS 大学・大学院／中高部／小学部／東洋英和幼稚園／
大学付属かえで幼稚園
- 10 追悼 亀徳 正之元理事長
- 11 この人に聞く 行田 邦子
- 12 聖書の言葉／史料室レター／ TOYO Wa-Wa
- 13 2014年度 行事予定
- 15 英和星空探訪／同窓会より／お知らせ

TOYO EIWA JOGAKUIN
Public Relations Report



大学付属かえで幼稚園

子どもたちの庭 -2014年 春、満開の桜の下で-

新しい体制で迎える春

体は一つでも、多くの部分からなり、体のすべての部分の数は多くても、体は一つであるように、キリストの場合も同様である。
だから、多くの部分があっても、一つの体なのです。

コリントの信徒への手紙一 十二章十二節・二〇節

新しい体制で、二〇一四年度が始まりました。学院創立一三〇周年を迎えるにあたり、新たな気持ちで幼稚園から大学院まで学院各部が一つの体となり、「敬神奉仕」の精神に基づいて、歩みを進めてまいります。



池田 明史

新学長 就任挨拶

学院創設から一三〇年、大学建学から四半世紀という節目の年に、学長の重責を担う仕儀となりました。まずは「敬神奉仕」の古き良き東洋英和の学統を、どのように現在の大学教育に活かしていくのかを自問しています。

大学を取り巻く環境は年々厳しさを増しています。少子化の一方で大学総定員が膨らみ続けてきた矛盾の辻褄を、辛うじて合わせてきた進学率は、ここへきて明らかに頭打ちの趨勢を見せ始めているからです。そうしたなかで、本学の存在感を保ち、さらに高めていくために、可能な限り尽力してまいりたいと思います。ご理解とご協力を賜れば幸いです。



露木 美奈子

新高等部長 就任挨拶

中高生の伸びやかな感性と澁刺としたエネルギー、そして一人一人に備わっている豊かな賜物を、若い魂に仕える者として、祈り求めつつ育んでいきたいと思えます。キリスト教の土台の上にある教育は、生徒に神に愛されているという安心感と「生きる意味」をはつきりと示すことができます。その上で、自分の賜物を社会のためにどう用いるかは各生徒に与えられた課題です。教員、職員の皆さんと共に、時代の要請によつて変えるべきところは変え、変えてはならないところは変えずに進んでいきたいと思えます。よろしくお願ひ申し上げます。



石澤 友康

新中学部長 就任挨拶

この度、中学部長という重責を拝命し身が引き締まる思いでおります。大学卒業後から英和一筋の教員生活です。その中で多くの生徒との出会いはかけがえのない宝物です。元気で明るく、それでいて人に優しい英和生。高い自己肯定感と他者への思いやりは「敬神奉仕」の建学の精神から来るものと確信しています。今後、彼女らが出ていく社会は「効率性」ではなく、より確かな「生きる意味」が求められます。それは中高時代に、与えられた命に感謝し思い切り青春することの延長上にあるものと思えます。若輩ものですので、皆様のご指導ご鞭撻をどうぞよろしくお願い致します。



石津 珠子

新大学付属かえで幼稚園長 就任挨拶

一九八五年に本学の短期大学保育科に奉職して以来、「幼子に生きよう」というフレールベルの言葉に導かれて、東洋英和の幼児教育、保育者養成にかかわってこられた諸先輩の働きに直接間接に触れる機会がありました。このたび、保育子ども学科教員として、園長に就任いたしました。子どもの傍らに居ることのできる恵み深い機会を喜んでいます。当園が東洋英和の保育の具現化と地域にある幼稚園という使命を持つことの意味と、今日幼児教育機関として、時代の変化の中で選択がせまられる事柄がありますが、この務めに必要な力と智慧が備えられます事を信じてとめて参りたいと存じます。

前学長 退任挨拶



村上陽一郎

東京理科大学での仕事をもって、大
学におけるキャリアを了えるつもりで
おりましたところ、本当に思いもよら
ず本大学にお招き戴くことになって、
瞬く間に四年間が過ぎました。この間、

大過なく、と言えるかどうか、自分で
は判りませんが、とにかく、退任する
時期を迎えることができたのも、多
くの教員、職員の方々に支えられた
お蔭と深く感謝しております。少子
化に伴い、私立大学を巡る環境は、極
めて厳しいものがあります。発足二五
年は、また育成期です。どうか今後も
学院全体で、大学を育てる暖かい目を
もって戴くようお願いする次第です。

前高等部長 退任挨拶



小林敏

爽やかな風に誘われながら、鳥居坂
を上った日のことが、昨日のように思
い出されます。温かい笑顔に迎えられ
たその時、伝統と信仰に導かれた豊か
な空気を感じていました。着任早々に

ら今に至るまで、のびのびと心置きな
く勤務できたことを嬉しく思っていま
す。教職員・保護者の皆様、同窓会・
学院関係の皆様のご支援、生徒
の皆さんとの交流の時。沢山の思い出
を頂きました。この四年間は、かけが
えない宝です。英和は今、私の魂の
故郷。その故郷を旅立ちます。ごきげ
んよう。生徒の皆さん、教職員の皆様。
これからの歩みを心から祈っています。

新大学人間科学部長 就任挨拶



佐藤智美

学部長の重責を担うことは、一〇年
ほど前の着任時には想像もしていませ
んでした。キャンパスの四季の彩りに
満ちた穏やかな佇まいはそのままで
が、この一〇年で人間科学部は勇気ある
選択を求められるようになりました。
今、私たちがとりうる実現可能で
賢明な選択肢の一つは、持てる資源を
最大限に活かし、切磋琢磨することに
よって、学部教育の質の向上に努める
ことです。そのとき、貧しくともゆる
ぎない向学心を持った村岡花子よう
な女性を、厳しくあたたかく育んだ
東洋英和の精神は人間教育の真髄であ
り、私たちの決断と行動の拠り所です。

新副学長 就任挨拶



中岡望

世の中には「想定外」の事柄はよく
起こるものです。今回の人事も、私
にとつて想定外でした。大学に来て
まだ四年、教職員の顔と名前がまだ
一致しない状況です。それにも拘ら
ず副学長の任務を与えられたのは、
ジャーナリストとしての社会での経
験を評価していただいていたの事だ
と思っております。その意味で、社会の
感性を大学に持ち込み、社会に向かっ
て大学のメッセージを発信するの
が期待された役割と理解しています。
すこしずつですが、確実に何かを
実現していきたいと思っております。

新高等部教頭 就任挨拶



北崎勝彦

これまで中学部教頭を七年間勤めて
参りましたので、久しぶりの高等部所
属です。高校生は、責任感やリーダー
シップ、将来の進路の決定など、中
生とはまた異なる学びと成長をする大
切な時期です。大人へと成長するこの
大切な時期を、中高部での教育の仕上
げ段階として、東洋英和らしいアプロ
ーチにて手助けができればと思います。
近年、学校選びのポイントとして、「
人間としてどう育ててくれるか」が重
視されてきています。学校が社会の要
求に応えるとともに、何よりもキリ
スト教に根ざした東洋英和の人間教
育を大切にして参りたいと思います。

新中学部教頭 就任挨拶



楠山眞里子

「東洋英和はどのような生徒を育てる
学校ですかと聞かれることがあります。
そうした時、「豊かな知識を育むだけ
はなく、神様を敬い、誰かのために役
に立つことを喜びとする生徒を育て
ております」と答えます。幼稚園、小学
校と異なった環境で植えられた若芽を大
切におあずかりし、神様に育ててい
ただくために、中学部ではゆたかな水
を注いでおります。私はこの度中学部
教頭として、微力ではありますがその仕
事の一端を担い、「誰かのために、まず、
私から始めましょう」というカートメル
先生の志を、未来を担う若いお嬢様方
へと伝えてまいりたいと思います。

学問の祭典—大学での学びの最終日

人間科学部教授 渡辺 和子



ポスター発表会場



8号館階段教室でゼミ代表の口頭発表



学生も教職員も熱心に聞き入る



口頭発表への質疑応答



配布された要旨集を読み、発表を聞いて意見を記入中

人間科学科の総合人間学コースの卒業研究発表会が一月二十九日(水)に行われました。このコースの七八名は七つのゼミ(演習)で卒業研究に取り組んできましたが、四年次の終わりに卒業研究成果(卒論)を提出するだけでなく、全員がポスター発表(カルテットホール二階)をしなければなりません。そのなかからさらに、ゼミ代表の七名が口頭発表を八号館の階段教室で行いました。

ポスター発表には臨床心理・社会心理コースからも約半数の四四名が参加しました。さらに今年度からは総合人間コースの三年生が一年後の本番に備えて、発表会に参加して発表へのコメントを提出することが義務付けられました。その他の学生、教職員などを加えると総参加者が約二三〇名という大発表会となったのです。

発表会の開始時に配布された各卒論の要旨を製本した「卒業研究要旨集」は、かけがえのない記念品ともなるでしょう。後輩のよい見本になるでしょう。ゼミ代表口頭発表では『ハウルの動く城』の新しい解釈である「なぜ今、ソフィーなのか」のほか、「近年の父親の育児とNHK幼児教育番組について」、「トリプルマーカークテストと優生思想との関係について」、「NHK朝の連続テレビ小説からみる女性像の変化」、「離婚した夫婦と子どものWell-beingを守るために—離婚制度・面接交流をとおして」、「映画『GATTAACA』を基に考える「科学」と「Something Great」など、興味深い卒論が披露

されました。それぞれの堂々とした発表にも、鋭い質問に対する立派な応答にも驚かされました。

ポスター発表では、「特攻の真実—特攻隊員の遺書に隠された本音を探る」、「学校給食におけるアレルギー問題について」、「現代に生きる人間の生と死の向き合い方を生き仏としての阿闍梨の生き様に学ぶ」、「紅の豚」と『風立ちぬ』—宮崎駿監督の戦争観と死生観」、「ハリー・ポッター」にみる生と死と愛」、「女性の美の基準とは何か」、「友好をめざして日韓関係を見つめなおす」など、バラエティに富んだテーマが並び、大いに刺激を受けました。臨床心理・社会心理コースからも多様なポスター発表があり、大いに盛り上がりました。

発表会当日は、朝から晩までのハー

ドスケジュールにもかかわらず、学生も教員も多くの発表に熱心に聞き入り、参加者の充実感と達成感が感じられる一日となりました。大学生活のなかでも最も感慨深い日であったのではないのでしょうか。これまで、かえって祭ほか種々のイベントでがんばってきた学生の姿を思い出しながら、大学での学びの最終日を学問の祭典で飾ってくれたことに心からの喝采を送りました。

このような卒業研究発表会の参加者が次第にふえて、大学での研究成果を多くの人と共有できるようになれば、どれほどすばらしいことでしょうか。なお、発表会当日の参加者投票によって決定したポスター発表と口頭発表の優秀者が、三月の卒業式終了後に表彰されました。

国際協力研究科の公開ワークショップ

国際協力研究科長 滝澤 三郎



公開連続ワークショップ
「国際協力NGOの広報・啓発・資金集め」

六本木にある大学院では、国際協力にかかる公開ワークショップが毎年開催されます。

公開講座の第一の目的は、本だけからは得られない国際協力についての体験を院生が聞くことにあります。授業は「オムニバス形式」で、外部から招いた実務家や専門家が連続で講義をします。院生にとってネットワークを作る機会にもなります。公開講座の第二の目的は、一般市民にも参加してもらい「地域に開かれた大学院」として社会に貢献することにあります。

昨年から後期には、「国際協力NGOの広報・啓発・資金集め」というテーマで公開連続ワークショップが開かれました。日本でも国際協力NGOが市民権を獲得しつつありますが、その数も増えるなかで資金獲得競争も激化し、「NGO

戦国時代」に突入しています。そのせいか、年間収入が六〇億円にも上る「国境なき医師団MSF」など、著名な国際NGOの事務局長クラスの講師による講義には五〇名近い受講者が詰めかけました。

とはいえ、普段の授業は院生五〜六名のほか外部参加者を含めて一〇名前後で、和やかな雰囲気です。社会人院生は新卒から中堅のキャリアアウーマン、団塊世代まで背景は多彩です。外部参加者はNGO関係者が多いのですが、時々「大学院ってどんなところ？」と目を輝かせた東洋英和の学部生も参加し、教室の雰囲気華やかにします。専門家や実務家講師にとつては、組織内部問題など微妙なことでも大学の授業であれば安心して話せるのか、「ここだけです」的な裏話が披露され、それはそれでとても面白いです。

ちなみに、大学の横浜キャンパスは美しいことで有名ですが、大学院にみる講師もミッシェン系女子大らしく落ち着いて品のある六本木の建物や教室に感心します。大学院が男女共学であることも意外のようです。そんな大学院の公開ワークショップやそのほかの公開講座、皆さまにもぜひ参加をお勧めします。

大学院

英語で「読書する」—日常と非日常の間で—

講座名「原語で読むアメリカの小説」

講師 山本 豊子



人と本との出会いの輪の中で

アメリカの中短編小説を中心に原語で読む読書会の、今までの内容を一部紹介します。毎年、一つの切り口があり、そのテーマに関連する作品を選択します。家族：アップダイクの「別居」、ギルマンの『黄色い壁紙』他、アジア系作家：タンの『ジョイ・ラック・クラブ』、ヤマモトの「十七文字」等です。ト

ピックに因んだ批評や随筆の抜粋も、邦訳を参考にしてみます。ゴシック小説：フロイトの「不気味なもの」や、東洋／西洋：サイードの『オリエンタリズム』等です。その系譜上、例えば、デイキンソンの詩、シェイクスピアの『リア王』から一幕、聖書の何節等にも及びます。時事的に合致した読みも取り込み、『ニューヨーカー』に最近よく掲載される村上春樹作品から、英訳された短編として興味深い読みを体験します。リーマン・ショック時に、メルヴィルの「バートルビー」を読み、ウォール街を投影するのです。ホーソンの南北戦争関係の記述を読書中に、『リンカーン』が上映という偶然も起こります。読んだ小説の映画を教室で皆と鑑賞したり、関連した音楽を聴いたり、ポップやオキーフ等の絵画にも、その都度触れます。毎回、配布します資料と共に、皆で交わす多様な意見から小説の多面的な読解を深めます。受講者の方々の、多忙な持ち場である日常と、読書会での非日常の時空間を循環して、英語で読書することから、実践的なインスピレーションが触発される講座を目指しています。

生涯学習センター

英和茶会 (高二)

高二学年主任 後藤 洋子



卒業生のお父様に案内していただき楽羽亭へ

英和茶会とは二〇〇八年一月に初めて実施され、毎年行われているプログラムです。茶道の先生で東洋英和女学院の卒業生でもある、山本万起子さんが「卒業生として在校生のために、自分にできることとして茶道の作法を教えたいのです」と学校に提案してくださりました。敬神奉仕の精神のもと、後輩たちへ何かできることをしてあげたいという山本さんの純粋な思いが英和茶会開催のきっかけです。

英和茶会の目的は、単に茶会の作法を身につけるだけでなく、英和生が社会に出たときに、もつとも必要な感謝の気持ちをもてるようになってもらうことです。心から相手をもてなす主人の気持ちに対して、感謝の心を示す作法を学ぶことなのです。

今回の英和茶会のために、二日間でのべ五〇人あまりの方がお手伝いしてい

らしてくださりました。卒業生の方々や、鈴木齊先生の呼びかけのもとに集まった、卒業生のお父様方が駆けつけてくださいました。懐かしい卒業生や保護者の方にお会いでき、嬉しく思いましたし、こんなにたくさんの方々

が英和の生徒のためにいらしてくださったことに、改めて卒業生の英和への愛を感じました。

三月十一日、新宿御苑内の茶室「楽羽亭」は梅が咲き始めていました。まず、寄付と呼ばれる小部屋で身支度を整え、皆新しい靴下に履き替えます。これはなぜかという昔は道が舗装されておらず、歩いてくると足袋が泥だらけになるので、泥のついた足袋で座敷を汚さないようにするためののだそうです。

続いて立礼席に移動し、掛け軸とお花、床の間の飾りの説明を受けま

す。掛け軸には「是道」と書いてあります。この言葉は英和茶会のテーマでもあります。「自分をいかに向上させて確立させていくか、自分自身の『道』を形成していくことが大切だと思えます。そして英和生としての自覚と誇りをもって、何を考え何をなすべきか、自問自答していきながら大きく立派な大人として、社会に役立つ人間とした羽ばたくことを願っています」との山本さんの思いが込められています。毎年、生徒たちへ贈る言葉として床の間に



甘いお菓子のあとは薄茶をいただきます

飾られています。

ここで点心と呼ばれるお食事をいただきます。季節感あふれる可愛らしいお料理が並んでおり、目でも味わうことができました。茶会の食事の席では、宗教の話、政治や戦の話、他人の批判などをしてはいけません、と言われてしまい、さて、何の話をしたものかと黙々と箸を動かしました。あんなに静かな食事は生まれて初めてかもしれ

ません。おかげで、一つひとつの食材をじっくり味わうことができました。食後に生徒の一人が、「私、和食のおいしさを初めて知った。今まで食わず嫌いだっただよ」と言っていました。

広間に移動し、お菓子と薄茶を順番でいただきます。どんなときも先の人

は後の人を思いやり、「お先にと声をかけ、後の人はそれに応えて」とうぞ」と言う。お茶をいただくときは、点て

てくださった方に感謝しながら、「お点前頂戴いたします」、そのような声掛けが素敵だなと思いました。緊張して、お菓子を床に落としてしまう生徒もいましたが、無事終了。いよいよ小間に移動し、濃茶をいただきます。躡り口は狭いので、かがみこんで小さくなつて入ります。自分の脱いだ靴を片付けられないので、次に入る人が前の人の靴を片付けます。みんなでぎゅうぎゅう詰まって小間に入りました。中はまるで異空間で、騒がしい外界から切り取られたような気がします。みんな足がしびれてつらそうな顔をしていましたが、よく頑張りました。最後まで涼しい顔で正座をしていたある生徒に卒業生の方が、「あなた、お茶をおやりなさいよ、奥が深いわよ。到達点がありませんから」とおっしゃっていました。



躡り口から身をかがめて小間に入ります

子どもたちが作り上げるマグノリアコンサート



有志の子どもたちによるオーケストラ



マグノリアコンサート ～5年生児童の日記より抜粋～

歌は福島の曲を三曲歌っていて、災害にあった東北の方々の気持ちがしみわたってくるような気がしました。「祈りをともに」の歌詞にあるように、苦しんでいる人々の事をいつも思い出し、助け合う心を持てるようにしたいです。



一月三十一日、小学部講堂でマグノリアコンサートが行われました。かつては全校音楽の日という名前で呼ばれており、合唱や合奏など、各学年ごとに発表を行っていました。この行事をバージョンアップしてリニューアルされたのが現在行われているマグノリアコンサートです。

マグノリアコンサートの大きな特徴として、一～六年生の各学年の合唱や演奏に加えて、子どもたちが歌うオペラがあげられます。これまでも「魔笛」や「セビリアの理髪師」「カルメン」など馴染み深いオペラを全校児童で歌い上げてきました。特徴のあるメロディーラインに入ると、どこかで耳にしたことがある旋律のためか、子どもたちの歌にも次第に熱が入り、みんなで盛り上がり歌います。全員で歌うパート

があり、学年ごとに歌うパートがあり、フィナーレは一同で歌い、子どもたちの拍手とともに終わります。昨年ヨハン・シュトラウス作曲の「こもり」を全校児童で共に歌い、子どもたちの笑顔と拍手をもって幕を閉じました。今年、みんなで楽しく取り組んできたのはヴェルディ作曲の「ナブッコ」です。各学年ごとに音楽の授業で練習を進め、年に数回行われる全校合唱の時間にお互いの成果を披露しあい、全体で合わせて、仕上げを行ってきました。マグノリアコンサート当日は放送委員会の子どもたちによるナレーションに加えてエンジェルリンガースの演奏も入ります。オペラの原作そのものは子どもには歌いにくい旋律があつたり、難しい言葉があつたりするので、音楽科が子どもたち

にわかりやすいように和訳したり、扱う部分を選んだりしながら作り上げられたのが小学部の子どもたちが歌う子どもオペラです。

小学部のマグノリアコンサートには、もう一つ大きな特徴があります。それは、先生たちのお膳立てで作られた行事ではなく、子どもたちが中心となって主体的に作り上げられた行事であることです。子どもオペラにおけるオーケストラも子どもたちが中心となっています。バイオリンやチェロ、フルートなどの演奏も四年生以上の有志によって行われており、その年のオーケストラの子どもたちのキャラクターが尊重されます。年度によってはソロが織り交ぜられたこともありました。毎年マグノリアコンサートが行われるにあたり、実行委員が決まり、場内担当の児童やステージマネージャーの役割を担う子どもたちも出てきます。意思の疎通を欠いてしまうと進行の妨げになってしまふこともあり、子どもたちはそれぞれの持ち場を一生懸命守ります。一生懸命練習をしたり互いに聴きあつたりすることにより自分の力を更に引き出すことも素晴らしいことには違いありませんが、他学年ともコミュニケーションをとり、協力しあい、一つのものを作り上げる喜びを体験することも、子どもたちにとってかけがえのない体験

の一つなのではないでしょうか。

こうして全校児童が一つになって作り上げられたマグノリアコンサートの最後が子どもたち自身による盛大な拍手で締め括られます。これは頑張ってきた自分への拍手のみならず、陰に日向にお互いに支えあつた仲間たちへの拍手なのかもしれません。

今年のマグノリアコンサートは、小学部で毎月十一日にささげている祈りにメロディーを添えた「祈りをともに」東日本大震災を受けて「祈りをともに」を全校児童と先生方の合唱をもって締め括られました。五年生の曲目も震災がテーマとなっていました。私たちが祈りが、気持ちが、今尚苦しみの真ただ中にいる人たちの心に届くよう、心をこめて歌いました。



私たちの思いが届きますように

もみの木と子どもたち



生木のもみの木を皆で協力して切りました



切り倒したもみの木の枝を運ぶ子どもたち

幼稚園は、創立一〇〇周年事業のひとつとして、園舎の増改築を予定しています。そのため、砂場右手の築山に立つ一本のもみの木も伐採されることになりました。

昨年のアドヴェントには、子どもたちはツララの飾りをかけたツリーの下で、ままごとやページェントを楽しみました。

一月のある日、年長組の子どもたちにもみの木を切ることを話すと、初めは「かわいそう」「他の場所に植えればいいよ」という声も聞かれましたが、この木を使って何かできないかと提案すると、「椅子とテーブル」「メダルを百枚」「部屋の飾り」等思い思いにアイディアを膨らませていました。

その翌日、子どもたちは倒れる方向を考えて印をつけ、鋸で少し

ずつ木を切り始めました。生木のなで鋸に樹液が着いてだんだん切りにくくなります。「良いにおいがする」「べとべとしてきた」…大工室で切っている乾いた木とは異なる抵抗感に苦勞しながらも、代わる代わる鋸を挽く子どもたち。二日かけてようやく三分の二ほどまで切り込みが入った時、「あーっ」と歓声が大きくなり、高さ約四メートル・太さ二〇センチほどのもみの木が園庭の真ん中方向にどさっと倒れました。

力を合わせて木を切り倒した子どもたちには皆満足した笑顔がありました。その後も、この丸太を薄く切つて小さい組にも何か作ってもらうと考え作業を続けました。

大学付属 かねで幼稚園

子どもと保育者とダンゴムシと…



ダンゴムシを探す子どもたち

四月、三歳児クラスの子もたちにとつて初めての幼稚園生活が始まりました。幼稚園を楽しみに登園する子ども、お母さんから離れて過ごすことに不安を感じている子ども、子どもたちの姿はさまざまです。私たちは進級した子どもたちも、新入園の子ももたちも幼稚園で安心して過ごしていけるよう、一人ひとりの子どもたちの気持ちに寄り添いながら、日々の生活を支えています。

かねで幼稚園には、たくさんの遊びがあります。春のこの時期、子どもたちに安心と喜びを与える遊びの一つがダンゴムシ探しです。ある朝、支度を終えた三歳児のAちゃんはヨーグルトのカップを手に持ち、保育者と一緒にダンゴムシを探しに庭へ出て行きました。Aちゃんは「ここにいるかなあ」と

花壇や植えこみの前にしゃがみまです。保育者と一緒に葉っぱをそとめくったり、石を動かしたり、土を掘ったりして、ダンゴムシを探します。ダンゴムシを見つけたら、あつという間にかむ子どももいますが、Aちゃんは「先生、取って」といいます。ダンゴムシの動きにちよつぱりドキドキして、見ていることは大丈夫でも触ることはできないのです。保育者は人差し指でダンゴムシにそつと触り、「丸まったわよ」と、手の平にのせてみます。丸まったダンゴムシを見ると、Aちゃんはにっこり微笑み、「私のカップに入れて」といいます。それからAちゃんはカップの中のダンゴムシが丸まったり動いたりする様子をじつと見ていました。ダンゴムシがひっくり返ると、カップを動かしたりおそるおそる人差し指で転がしたりして、起き上がるようにします。そして保育者の顔をちらりと見て、静かに笑います。Aちゃんはダンゴムシを入れたカップを大切そうに持ち歩き、何度も見入っていました。

暖かい日差しの中、Aちゃんのように保育者と一緒に過ごすことで好きなことが見つかり、幼稚園を「楽しい」と感じ始めている子どもたちがいいます。

追悼 亀徳正之元理事長



亀徳正之先生

一九一六年生まれ。一九四一年、東京帝国大学法学部政治学科卒業後、大蔵省入省。大蔵大臣官房長、国税庁長官等を歴任。
一九六九年五月、学校法人東洋英和女学院監事に就任。その後、理事、評議員、常務理事を歴任し、一九九〇年六月から二〇〇五年五月まで理事長。その間院長事務取扱も務める。
一九八六年勲二等旭日重光章受賞。日本基督教団鳥居坂教会会員。
二〇一四年三月五日召天。

亀徳正之先生告別の辞

院長 深町 正信

三月五日、亀徳正之先生は九七
年間の地上の生涯を終えて、主の
みもとに召されました。先生のご
尊父、亀徳一男先生は日本メソジ
スト教会の牧師であり、また関西
学院大学神学部の教授でありまし
た。亀徳正之先生はW・A・ウイル
ソン牧師により、幼児洗礼をお受
けになり、幼いころからキリスト
教会の交わりの中で育ちました。

先生は長じて第一高等学校に進
学されましたが、当時は一高の全
員が寄宿舎に入り、自給生活をし
ました。そこで、いろいろな貴重
な人生経験をされました。何より
も先生は自分の生涯の師と仰ぐ三
谷隆正先生と出会い、さまざま
点で深く感化されました。また当
時、後に東京大学教授となった前
田護郎先生、隅谷三喜夫先生とも
出会い、その後の自分の人生の諸
問題やキリスト教信仰について明
確に考えさせられるようになって
たと述べられています。

三谷隆正先生が寮誌に記された
「現代に欠けているものは財力で
も、知識でもなく、真実である。
ひたむきな誠実さである。その
誠実さから生まれ出るところの

道徳的勇氣である」という言葉を
胸に、先生は東京帝国大学法学部
を卒業され、大蔵省に入省されま
した。当時は太平洋戦争も激しく
なり、まもなく海軍主計士官に任
じられて、バリ島に海軍派遣中尉
として派遣されました。それは
一九四五(昭和二〇)年一月のこと
で、その年の八月一五日に日本は
連合国に無条件降伏しました。先
生は敗戦による海軍の引き継ぎ業
務を命じられた後、スラバヤの作
業隊に入れられ、毎日重い労役に
服し、一九四七年二月、ようやく
祖国日本に無事に帰られました。

帰国後、先生は捕虜生活の無理
が祟ったのか、重い肺疾患に倒れ、
二年余りご夫人とともに療養所の
生活も経験されました。この苦し
い経験の中で先生は「いつも信仰
がこの私を支え、私共夫婦を成長
させていたいただいたことを、今は感
謝している」と主の恵みを力強く
証しておられました。

その後先生は健康を回復され、
大蔵省主税局に勤務し、やがて国
税庁長官を務められました。また
一九九〇(平成二)年からは東洋英
和女学院の理事長、院長事務取扱

のお仕事を一五年という長きにわ
たって務められ、新しい時代の教
育と研究の充実・発展、財務の健
全化、四年制大学の施設とその後
の諸整備、六本木校舎の改築、パ
イプオルガン設置のためにもご尽
力くださいました。

私は一九七七(昭和五二)年から
七年間、鳥居坂教会の牧師として
召喚され、亀徳先生ご夫妻ととも
に伝道と教会形成に仕えましたこ
とを今、感謝をもって思い起こし
ます。また先生は英語で旧約聖書
を一〇回、新約聖書を七回通読さ
れ、仏語でユーゴの『レ・ミゼラ
ブル』を読み続けられていたとの
ことでした。

私が先生に最後のお別れをさせ
ていただきました際、そのお顔は
眠っているかのごとく穏やかで、
「今後、死に至るまで、キリスト
を信じ、神を仰ぐ生活を守ってい
きたい」と一九七八(昭和五三)年
に先生が書かれた「人信記」に記さ
れたとおりに、今やすべてをなし
終えた信仰の勇者の如くに、平安
のうち、主イエス様の約束された
永遠の生命にあることを強く感じ
ました。

終わりに、植村正久先生の訳さ
れたセラ・ゲラルデナ・ストック
の「天に一人を増しぬ」の詩の一部
を送ります。

「家には一人を減じたり 楽し
き団欒は破れたり 愛する顔
つもの席に見えぬぞ悲しき
さはれ 天に一人を増しぬ 清
められ 救はれ 全うせられしも
の一人を

家に一人を増しぬ 分るること
のたえてなき家に 一人も失はる
ることなるべき家に
主イエスよ 天の家庭に君と共に
に坐すべき席を 我らすべてにも
与えたまへ」
アーメン。





人生の前半は自分のために、後半は他者のために

東洋英和の中高部、国際基督教大学を卒業し、民間企業に約18年間勤務の後、参議院議員として活躍中の行田さん。東洋英和で育まれたことが、政治の世界への転身とどう結び付いているのでしょうか？

職人のオレンジのタオル

私が育った大田区本羽田は、ちょうど蒲田と羽田の間あたりに位置する町工場がひしめく地域。東洋英和の中学部に入学する前、私は地元の公立小学校に通っていた。私の父は町場の工務店を経営していたのだが、毎朝の通学路は自宅と一体化している工務店の作業場を通り抜け、町工場の油の匂いと機械の音に包まれながらの徒歩五分。ギョルン、ウイン、キーキー……。工場によって聞こえてくる音が違い、機械にも色々な種類があるものだと、子どもながらに感心したことを覚えている。



参議院予算委員会において安倍総理に質問

れるのだが、その時、職人が首に巻いているタオルはなぜかオレンジ色が多い。少なくとも私の脳裏に焼き付いているのはオレンジなのだ。以来、私にとってオレンジ色は、日本経済や地域社会を支えてきた働く人々の象徴となり、初挑戦した参議院選挙でも迷わずオレンジ色を私のイメージカラーとした。

「英和」カルチャーショック

このような環境で育った私が世間で言うところの「お嬢様学校」に進学することになったのには、当時の時代背景がある。昭和五〇年代前半、校内暴力が大きな社会問題となり、特に東京の下町では地域社会の定番とすらなりつつあった。運動会は隣の中学の生徒の乱入により中断され、卒業式も荒れ放題、教師への暴行事件が起きた中学の教室の窓ガラスは常に割れていた。このような状態に心を痛めた私の両親が、二人の娘には落ち着いたゆつたりとした環境の中で教育を受けさせたいと考え、通学可能な距離にあるクリスチャンスクールの東洋英和への進学を望んだのであった。

二歳上の姉が既に中学部で学んでいたのだが、いざ、自分自身が英和に入学してみると、これが大変なカルチャーショックとなった。ある同

級生からの「お父様は何をやってらっしゃるの？」との問いには「一般木造住宅の工務店です」と答えるのが精一杯で、「どちらにお住まい？」との質問に「蒲田駅からバスで一五分」と答えると「山の手線の外はよくわからない」と困惑され、同級生の母親を「おばちゃま」と呼んだり、未知との遭遇でもあった。私にとって英和で過ごした中高六年間は、これまで知ることのなかった別の世界を知る機会であり、家庭環境や経済環境は実には人様々であることを実感する年月でもあった。

いつかは他者のために

二〇〇七年七月、埼玉県選挙区から参議院議員選挙に出馬し初当選させて頂いた。親族に一人も政治家はおらず、政治家とは縁のない環境で育ったにもかかわらず国政で働きたいと決意した根底には、英和の六年間で知らず知らずのうちに身についた考え方があってはならないか。忘れてもならない「敬神奉仕」という言葉は、授業や礼拝、すべての行事に貫くものであり、さらには英和という空間の隅々までに浸透する精神と言える。英和を卒業し、大学で学び、社会人となつてからも心から離れない言葉となった。社会人としてあわただしい日々を過ごす中で、「敬神奉仕」か

ら芽生えたある一つの思いが、徐々に自分自身の信念へと変わっていった。「人生の前半は自分のために生き、好きなことをやり、人生の後半は他者のために、社会のために生きよう。」このような思いが結実し参議院議員選挙への出馬となったのである。私にとって国会議員という職は、他者のために人生を費やすことであり、社会のために尽くすことを意味している。思いは人一倍ではあるがまだまだ実践できていないことが多い。英和で学び教えて頂いたことへのお返しができるよう、感謝の気持ちを忘れずに日々を過ごしていきたい。



お年寄りのカラオケ大会に出席

■こうだくにこ／参議院議員。参議院消費者問題に関する特別委員会委員長。みんなの党女性局長。1965年岩手県遠野市生まれ。東洋英和女学院中学部・高等部、国際基督教大学教養学部卒業。株式会社旭通信社、ジャーディンワインズアンドスピリッツ株式会社、株式会社電通にて勤務の後、2007年7月第21回参議院議員通常選挙において埼玉県選挙区にて初当選。現在2期目。



イエスは言われた。『心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。これが最も重要な第一の掟である。第二も、これと同じように重要である。隣人を自分のように愛しなさい。』
律法全体と預言者は、この二つの掟に基づいている。』

マタイによる福音書 二章三七〜四〇節

旧約聖書にはあらゆる掟が書いてありますが、どれが最も大切でしょうか。イエスは、このことについて度々お話ししました。答えるために、イエスは旧約聖書の申命記から引用しました。第一は「神を愛しなさい」という掟です。神を愛することは信仰の領域になりますが、深いところでは教育にもつながります。超越的絶対者、天地万物創造者の神を自覚することに、人間としての相対性・主観性に気付きます。自己中心的になりがちな人間にとって、自分の存在と生き方を見直す機会になるのです。

このことを認識する人は謙虚に他者と関わり、また謙虚に真理を追求することになります。そして、第二の掟、「隣人を愛しなさい」ということは、神の愛を知ることによって自然にそうなるのです。神の観点から物事を見ることができれば、他者に目を向け、思いやりを示すことができるようになるのです。時代や文化がどのように変化していても、私たち人間はいつでもこの原点に立ち戻る必要があるでしょう。

青山学院 宗教部長・宣教師・大学准教授
東洋英和女学院 理事・評議員
シュー土戸 ポール

TOYO Wa-Wa

おたよりコーナー

NHK連続テレビ小説「花子とアン」で話題の村岡花子さんは、1956年から1968年まで、英和の短期大学で非常勤講師もされていました。花子先生の思い出をお寄せいただきましたのでご紹介します。

村岡花子先生の授業の思い出

1967年4月東洋英和女学院短期大学保育科に入学した私は、活字でしか知らなかった「椰子の実」を作曲した大中寅二先生、『赤毛のアン』を翻訳した村岡花子先生の授業を受け大学生になった喜びを感じたものです。

村岡先生は地味な和服姿で、無表情で怖い感じがしましたが、お話の語りは表情豊かで聞き惚れました。お亡くなりになる前だったからか休講が多かったのですが、童話の種類・童話の構成・世界の童話など教えて頂きました。しかし、村岡先生の授業で一番覚えているのは「殉死」の話です。先生は日本の武家社会には「殉死」という風習があり、夫が亡くなるまで野蛮な下劣なものだと毛嫌いしていたが、夫が亡くなった時、一緒に死にたい、後を追って死にたいと思い「殉死」を理解することが出来るようになったと話されました。18歳の私にとっては衝撃的でしたが、相思相愛のご夫婦のあり様を知りました。翌年の1968年の秋、村岡先生は最愛の夫の元に旅立たれましたので、私共は最後の教え子でした。

M.A.
短期大学1969年卒

「TOYO Wa-Wa」へのお便りは……

〒106-8507 港区六本木5-14-40
東洋英和女学院法人事務局 総務企画部総務課 まで
e-mail: koho@toyoeiwa.ac.jp でも、お待ちしております。

史料室レター No.13

村岡花子展、各地で開催 (関東地区の紹介)

★「村岡花子と東洋英和(Ⅱ)」

学院史料展示コーナー 六本木校地本部・大学院棟

卒業後の花子さんと母校東洋英和との関わりに焦点をあてて紹介しています。(九月末まで)

左記企画展はそれぞれ異なった視点から開かれていますので、どうぞ奮ってお出かけください。いずれにも学院が協力をしています。

*「村岡花子展 ことばの虹をかける」山梨からアンの世界へ (開催中) 六月二十九日…山梨県立文学館(甲府市)にて

*「モンゴメリと花子の赤毛のアン展」

カナダと日本をつないだ運命の二冊

五月二十一日〜六月二日…日本橋三越にて

*「花子とアンへの道」村岡花子 出会いはじまりの教文館

五月三十一日〜七月一日…教文館(銀座)にて

*「村岡花子と赤毛のアンの世界展」

本を道しるべにして、少女たちのために

七月四日〜九月二日…弥生美術館(文京区)にて

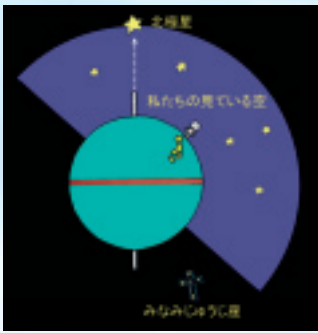
2014年度 行事予定

小学部		東洋英和幼稚園		大学付属かえで幼稚園	
4月	8日(火) 始業式 10日(木) 入学式 23日(水) イースター礼拝 25日(金) 春の遠足 * 春の健康診断	4月	7日(月) 始業礼拝 9日(水) 入園式 23日(金) 新入園母子歓迎会 * 春の健康診断	4月	8日(火) 始業礼拝(進級児) 9日(水) 新入園児始業 11日(金) 入園式 21日(月) イースター礼拝 24日(木) 園外保育(4歳児) 26日(土) ワークI
5月	10日(土) 学校説明会① 14日(水) 授業参観日 24日(土) 運動会	5月	10日(土) 父母の会 15日(木) はみがき指導 23日(金) 母と子の遠足 30日(金) いちようの木献金セール	5月	8日(木) 園外保育(5歳児) * 園外保育(3歳児) 12日(月) 母の日礼拝 17日(土) ワークII 29日(木) 健康診断
6月	5日(木) 学校説明会② 11日(水) ペンテコステ礼拝 18日(水) オープンスクール 20日(金) 鑑賞の日 28日(土) 土曜参観日	6月	14日(土) 入園説明会①	6月	19日(木) 歯科検診 * 親と子の集い(4歳児)
7月	夏期学校〔軽井沢追分〕 15日(火)～17日(木) 1年1組 17日(木)～19日(土) 1年2組 19日(土)～21日(月) 2年1組、6年1組 21日(月)～23日(水) 2年2組、6年2組 23日(水)～25日(金) 3年1組・2組 25日(金)～27日(日) 4年1組・2組 28日(月)～31日(木) 5年1組・2組	7月	2日(水)～4日(金) キャンプ(5歳児)〔軽井沢追分〕 10日(木) 終業礼拝 10日(木) 入園説明会②	7月	16日(水) たのしみ会(3歳児) 終業礼拝(4、5歳児) 17日(木) 夕涼み会(4、5歳児)
9月	5日(金) コース別集団下校訓練 11日(木) 入試説明会 16日(火)～19日(金) 6年修学旅行 26日(金) 秋の遠足(1～5年) 30日(火) 前期終業式	9月	16日(火) 始業礼拝	9月	8日(月) 始業礼拝(3、4、5歳児) 9月入園式(3歳児) 20日(土) ワークIII 27日(土) 入園説明会①
10月	1日(水) 追悼記念日礼拝 2日(木) 後期始業式 6日(月)～9日(木) 球技会週 23日(木) 児童引取り・徒歩帰宅訓練 * 秋の健康診断	10月	1日(水) 追悼記念日礼拝 11日(土) ファミリーデー 21日(火)～25日(土) 入園考査 * 秋の健康診断	10月	1日(水) 追悼記念日礼拝 18日(土) ファミリーデー(4、5歳児) 〔大学校地〕 20日(月) オープンデー(3歳児) 22日(水) 入園説明会② 29日(水) 芋ほり(4、5歳児)
11月	3日(月) 入学考査 6日(木) 学院創立記念日 学院創立記念日礼拝 28日(金) 学芸会	11月	6日(木) 学院創立記念日 学院創立記念日礼拝 14日(金) りんご園遠足(5歳児) 〔長野県上田市〕	11月	1日(土) 入園願書受付 5日(水) 学院創立記念日礼拝・音楽会 6日(木) 学院創立記念日(休園) 8日(土) ワークIV 25日(火) アドヴェント礼拝I
12月	1日(月) アドヴェントを迎える会 13日(土) むかえようクリスマス 18日(木) クリスマス礼拝	12月	10日(水) 母の会アドヴェント礼拝 18日(木) アドヴェント終業礼拝	12月	1日(月) アドヴェント礼拝II 2日(火) アドヴェント礼拝III 16日(火) クリスマス礼拝(3歳児) 17日(水)、18日(木) クリスマス礼拝(4、5歳児) 19日(金) 小学生・中学生クリスマス礼拝
1月	30日(金) マグノリアコンサート * 梨花女子大学附属初等学校 (韓国・姉妹校)来校	1月	7日(水) 始業礼拝 10日(土) 100周年記念礼拝・祝会 * おもちつき * ACEF訪問(5歳児)	1月	13日(火) 始業礼拝(3、4、5歳児) * 教会訪問(5歳児)
2月	10日(火)、11日(水・祝) 美術展 11日(水・祝) 親子討論会 きらきらコンサート 16日(月) 授業参観日 24日(火)～27日(金) クラブ発表週	2月	7日(土) 父と子の遠足(5歳児)〔那須塩原〕 23日(月) 日本舞踊を観る会	2月	7日(土) 父親保育参加(4歳児) 21日(土) 人形劇 * 小学校訪問(5歳児)
3月	17日(火) 卒業式 18日(水) 修業式	3月	4日(水) 課外日舞おさらい会 * お別れ会 9日(月) 課外ピアノ科おさらい会 18日(水) 終業礼拝 19日(木) 卒業式	3月	5日(木) 卒業遠足(5歳児) 9日(月) 園外保育(4歳児) 17日(火) お別れ会 終業礼拝(3、4歳児) 18日(水) 卒業式

*印は日程が未定(2014年3月31日現在)

大学院		大学		中高部	
4月	5日(土) 入学式・オリエンテーション 19日(土) 修士論文(研究成果)題目届提出締切日(2014年9月修了見込者) 博士論文題目届提出締切日(2015年3月修了見込者) 26日(土) 健康診断	4月	2日(水) 入学式 1日(火)～7日(月) 学内オリエンテーション 26日(土) プレイデー	4月	7日(月) 中学部入学式 8日(火) 中学部始業式 高等部入学式・始業式 9日(水) 健康診断Ⅰ(中1・高1) 23日(水) 健康診断Ⅱ(全学年) 26日(土) 授業公開日・母の会総会
5月	24日(土) 入試説明・相談会(両研究科)	5月	23日(金)～24日(土) 1年生オリエンテーション合宿〔千葉県南房総市富浦〕 31日(土) オープンキャンパス	5月	12日(月)～14日(水) 高3修養会(天城) 12日(月)～16日(金) 高2修学旅行(阿蘇・雲仙・長崎) 14日(水) 中2～高1学年行事 14日(水)～16日(金) 中1オリエンテーション(清里)
6月	26日(木) 修士論文(研究成果)提出締切日(2014年9月修了見込者)	6月	14日(土) 東京女子大学スポーツ交流会(予定) 22日(日) オープンキャンパス	6月	3日(火)～6日(金) I学期中間試験 6日(金) 中学部鑑賞行事、花の日礼拝・訪問 19日(木)～20日(金) 高1カンファレンス(御殿場) 28日(土) オープンスクール
7月	5日(土) 休講(2014年度修士課程後期入学試験) 12日(土) 入試説明・相談会(両研究科)	7月	26日(土) オープンキャンパス	7月	1日(火) 合唱コンクール(中学部) 球技会(高等部) 18日(金)～8月6日(水) カナダ語学研修 19日(土)～21日(月) オープニングキャンプ(野尻) 22日(火)～29日(火) 中2夏期学校前後期(野尻) 29日(火)～8月1日(金) 訓練キャンプ(野尻) 31日(木)～8月2日(土) 夏期修養会(軽井沢追分)
9月	6日(土) 2014年度後期科目等履修生・プログラム履修生試験 人間科学研究科修士課程 2015年度前期(秋季選抜)一次試験 国際協力研究科修士課程 2015年度前期(秋季選抜)試験 13日(土) 人間科学研究科修士課程 2015年度前期(秋季選抜)二次試験 20日(土) 学位授与式／入学式・オリエンテーション	8月	17日(日) オープンキャンパス 30日(土) オープンキャンパス	8月	1日(金)～6日(水) キャンプ(野尻)
10月	1日(水) 追悼記念日礼拝 18日(土) 修士論文(研究成果)題目届提出締切日(2015年3月修了見込者) 入試説明・相談会(国際協力研究科のみ) 博士論文提出締切日(2015年3月修了見込者)	9月	15日(月・祝) オープンキャンパス	9月	6日(土) 学校説明会 18日(木)～25日(木) I学期期末試験
11月	6日(木) 学院創立記念日 29日(土) 入試説明・相談会(人間科学研究科のみ)	10月	1日(水) 追悼記念日礼拝 26日(日) 公募制推薦入試 同窓生子女枠特別推薦入試 一般・社会人編入試、社会人入試	10月	1日(水) 追悼記念日礼拝 3日(金) II学期始業礼拝 11日(土) 体育祭 24日(金)、25日(土) 楓祭
12月	6日(土) 国際協力研究科修士課程 2015年度前期(冬季選抜)試験 11日(木) 修士論文(研究成果)提出締切日(2015年3月修了見込者)	11月	2日(日)、3日(月・祝) かえで祭 6日(木) 学院創立記念日 15日(土) 院内推薦入試(A日程) * チャペルコンサート * 収穫祭 22日(土) 進学相談会 26日(水) アドヴェント夕礼拝 * 清楓会クリスマスパーティー	11月	4日(火)～7日(金) 創立記念特別週間 6日(木) 学院創立記念日 学院創立記念日礼拝 7日(金)～13日(木) 授業公開週間・美術展 8日(土) 学校説明会 21日(金) 球技会(中学部) 29日(土) 入試問題説明会
1月	31日(土) 人間科学研究科 2015年度前期(春季選抜)一次試験	12月	15日(月) クリスマス礼拝 20日(土) スカラシップ特別入試	12月	2日(火)～8日(月) II学期中間試験／高3期末試験 8日(月) 中学部鑑賞行事 13日(土) クリスマス音楽会 19日(金) クリスマス礼拝 26日(金) ミニ学校説明会
2月	7日(土) 人間科学研究科 2015年度前期(春季選抜)二次試験 国際協力研究科 2015年度前期(春季選抜)試験 28日(土) 2014年度後期科目等履修生・プログラム履修生試験	1月	10日(土) 院内推薦入試(B日程)、外国人留学生入試 17日(土)、18日(日) 大学入試センター試験 31日(土) 一般入試	2月	2日(月) 入学試験A日程 3日(火) 入学試験B日程
3月	14日(土) 学位授与式	2月	26日(木) 一般入試(後期)	3月	2日(月)～6日(金) II学期期末試験 7日(土)、10日(火) 英和茶会 16日(月) 中学部卒業式・修業式 高等部修業式 17日(火) 高等部卒業礼拝 18日(水) 高等部卒業式 20日(金)～4月3日(金) アメリカ語学研修 23日(月)～26日(木) スキー教室(志賀高原) 23日(月)～26日(木) 社会科学習旅行(奈良・京都)
3月	14日(土) 学位授与式	3月	6日(金) 卒業礼拝 10日(火) 卒業式 22日(日) オープンキャンパス(春キャン)		
全学院					
4月	1日(火) 新任者辞令交付式 11日(金) 全学院新年度礼拝・歓迎会	11月	6日(木) 学院創立記念日 130周年記念式典・シンポジウム 永年勤続者表彰 11日(火) カナダ宣教師墓前礼拝 15日(土) 楓の会 秋の講演会・役員総会 22日(土) ハンドベルフェスティバル		
6月	13日(金) 後援会・母の会・学院三者懇談会 21日(土) 楓の会 春の講演会	12月	5日(金) 全学院クリスマス礼拝		
7月	4日(金) 後援会常任役員会／役員会／総会 12日(土) 三英和懇談会(於:山梨英和学院)	3月	6日(金) 後援会・母の会・学院三者懇談会 27日(金) 退職者辞令交付式・送別会		
10月	1日(水) 追悼記念日礼拝 3日(金) 後援会役員懇談会				

南十字星



関東地方から見えない南十字星

「夏休みにハワイに行くのですが、南十字星は見えますか?」「ニュージールランドに行くのですが、いつ頃南十字星が見えるでしょうか?」といった質問をお受けすることがあります。南方に出かける機会があると南十字星が見えるのでは?と期待される方も多いと思います。

南十字星とは通称で、正式には「みなみじょうじ座」という世界的に認定されている星座のひとつです。八八ある星座の中で最も面積の小さな星座です。小さな星座でも一等星二つ、二等星一つ、三等星一つと明るい星でバランスの良い十字の形に星が並んでいます。

ここでひとつクイズを出してみたいと思います。「日本から南十字星は見る事ができるでしょうか?」

答えは「見ることができません」。しかし見るためには日本の中でも相当南に行かなくてはなりません。南十字の四つの星がギリギリ地平線・水平線上に昇ってくるのは、北緯二七度の与論島付近。または小笠原諸島でしたら父島付近です。そこから緯度が一度下がると南十字星も一度高く見ることが出来ます。



南十字とポインターの星(左 ケンタウルス座α星、右 ケンタウルス座β星) 撮影:小野寺昭彦氏

ハワイは南の島のイメージがありますが、北半球にあり、オアフ島で北緯二十一度です。見ることはできませんが高さも低く、見えている時間も短めです。ここで見るのでしたら南の空の開けた場所を見つけてください。南十字は夏の星座のイメージがありますが、四季で分けると春の星座です。夜の早い時間に見るのなら春。夏休みでは残念ながら見ることはできません。お正月なら明け方前に見ることが出来ます。南半球に行けば南十字星は夜空高くに見ることが出来ます。ニュージールランド付近まで行けば周極星(天の北極)または天の南極に近接しているため、地球上のある地点において地平線下に沈まない星となり、沈むことはありません。夜になればどこかに見えてはいるはず。近くに「二七十字」と呼ばれるまぎらわしい星の並びもありますが、目印はポインターと呼ばれる明るい星二つ。その二つを結んで伸ばしていった先に十字の星の並びが見えれば、それが本物の南十字星です。

お知らせ

学院

東洋英和女学院創立130周年・
東洋英和幼稚園創立100周年記念
楓の会講演会のご案内

日時:11月15日(土)14:00開演(13:30受付開始)
場所:中高部 新マーガレット・クレイグ記念講堂
講師:渡辺和子先生(学校法人ノートルダム清心学園理事長)

※お申し込みは楓の会会員に限ります。お申し込み方法は、9月発行のKAEDE MAGAZINEおよびホームページでご案内いたします。

東洋英和幼稚園

東洋英和幼稚園創立100周年記念行事

今年度は東洋英和幼稚園創立100周年の年です。そこで2015年1月10日(土)の午前に100周年記念感謝礼拝、午後にはホームカミングデーを計画しております。東洋英和幼稚園のすべての年齢の卒園生と保護者の方々にご参加いただけます。詳細を幼稚園のホームページに掲載しておりますので、どうぞご覧ください。多くの方々のご参加をお待ちしております。

東洋英和女学院 学院報 楓園 第74号

発行日:2014年5月16日
編集:広報委員会
発行:学校法人 東洋英和女学院
東京都港区六本木 5-14-40 Tel:03-3583-3325
メールアドレス: koho@toyoeiwa.ac.jp
ホームページ: http://www.toyoeiwa.ac.jp

同窓会より

■新入会員のご紹介

東光会(高等部同窓会) 178名/楓美会(大学同窓会) 536名/大学院同窓会 24名
ご卒業おめでとうでございます。同窓会ご入会を心より歓迎いたします。

■同窓会総会のご案内

大雪に見舞われた季節も春から夏へ、爽やかな季節を迎えました。今年度、同窓会は創立120年を迎えます。出身学部がちがう6つの会がともに六本木校地に集まり、東洋英和女学院の原点に立ち返って総会を開きます。新任の深町正信院長をお迎えして礼拝を捧げ、議事終了後にはこの春スタートした「花子とアン」の物語の原作者で、大先輩村岡花子さんの孫にあたる村岡恵理さんがお話しくくださいます。ぜひお出かけください。

同窓会総会実施要領

東洋英和女学院同窓会総会	日時:2014年6月7日(土)13:10より	
	会場:新マーガレット・クレイグ記念講堂(六本木校地)	
各同窓会総会	礼拝:説教 深町正信院長	
	総会議事:前年度活動報告・決算報告・監査報告・今年度活動予定・予算案・新役員人事承認	
	講演:村岡恵理氏(高等部1986年卒) テーマ「花子と東洋英和」	
	お茶の会・ミニバザー(15:45終了予定)	
	保育部会(短期大学保育科)	10:30 中高部小講堂
	かえで会(短期大学英文科)	10:40 中高部集会室
	楓美会(大学)	11:30 本部・大学院棟
	大学院同窓会	11:30 本部・大学院棟
	東光会(高等部)	12:00 中高部小講堂
	楓雅会(短期大学国際教養科)	12:30 中高部集会室